

目 次

□巻頭言 機械化に期待する……………永 尾 勝 義/ 1

滝里ダム建設による根室本線付替計画……………大 井 英 勝/ 3

常磐新線の整備構想について……………伊 藤 泰 司/ 9

超大型クローラクレーンの輸送性と
工事現場に適合した仕様選定……………沢 井 浩 次/14

オールケーシング工法用回転式ケーシング
ドライブ (CD 1500) の開発と施工実績……………近 澤 禮 吉/19
久 住 吉 宏

□随 想 湖水誕生に立ち合って……………安 達 俊 雄/25

□昭和 60 年度官公庁・建設業界で採用した新機種

建設業界……………兼 子 功/27

グラビヤ—建設業界で採用した新機種

第 37 回通常総会開催……………/47

□新工法紹介

コンクリート床直仕上げロボット/コンクリート
床仕上ロボット/CBS 工法……………調 査 部 会/58

□新機種ニュース……………調 査 部 会/61

□文献調査

圧縮リング支持による大断面トンネルの施工/発
泡性グラウトによる老朽トンネルの補修/陽極メ
ッシュによるコンクリート橋の陰極保護工法……………文 献 調 査 委 員 会/68

□ISO 規格紹介

土工機械に関する ISO 規格 (15)-2……………I S O 部 会/71

□整備技術

建設機械メカトロニクスの整備 (第 11 回)……………整 備 部 会/75
バッチャプラント計量制御装置

□統 計

建設工事受注額・建設機械受注額の推移……………調 査 部 会/78

行事一覧……………/79

編集後記……………(橋 口 ・ 牧)/82

◀表紙写真説明▶

CAT D6H LGP 湿地ブルドーザ

キャタピラー三菱株式会社

高位置スプロケットデザインを採用した中型湿地ブルドーザである。三角形の履帯の頂点にスプロケットを配し、接地長を前後両方に延ばしているため、低接地圧の確保とともに、車体バランスも良く、軟弱地性能の向上が図られている。またトラックフレームとメインフレームはピボットシャフトで接続されているため、最低地上高も高く、泥の付着も少ない。オペレータシートは調節自由なサスペンションシートを装備し、右に 15° 傾けて設置されており、楽な姿勢で後方確認ができる。

◀主な仕様▶

総重量……………	19,450 kg
定格出力……………	167 PS/1,800 rpm
接地長……………	3,265 mm
履帯幅……………	1,000 mm
接地圧……………	0.25 kg/cm ²
最低地上高……………	520 mm
ブレード寸法 (幅×高)……………	3,995×1,100 mm